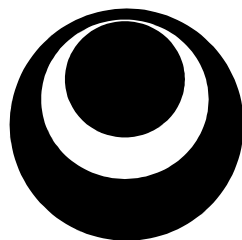


結核の現状

令和5年版

(令和4年資料)



沖縄県保健医療部
ワクチン・検査推進課

はじめに

本冊子は、令和4年に感染症発生動向調査事業により収集された結核登録者情報を基に作成されたものです。本事業の推進において、指定医療機関等の皆様方に多大なご協力をいただき感謝申し上げます。

我が国は長年、国際的に結核の「中まん延国」とされており、平成28年に改正された厚生労働省告示「結核に関する特定感染症予防指針」の成果指標である、「令和2年(2020年)までに罹患率10以下(低まん延国)」を目指し、「患者中心のDOTSの推進」や「低まん延国化に向けた体制の検討」等の推進に取り組んでまいりました。

全国では、「令和2年(2020年)までに罹患率10以下」という指標の達成は叶いませんでしたが、翌年令和3年には罹患率(人口10万対)9.2と結核の「低まん延国」となり、令和4年には新登録結核患者数10,235人、罹患率8.2とさらに減少しています。ただし、令和2年以降の結核患者減少の背景には、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えや健診の未実施による結核患者の見逃しがあることも危惧されており、今後も注視が必要です。

また、県内の令和3年における結核の罹患率は11.9でしたが、令和4年には、新登録結核患者数124人、罹患率8.4と大きく減少し、罹患率が10を初めて下回りました。令和4年の結核患者減少の背景には、全国同様新型コロナウイルス感染症の影響も考えられます。その他にも、新登録結核患者のうち高齢者の割合が多くを占めていることや、発見の遅れによる集団感染事例の発生、外国生まれ患者への支援体制等の課題があり、これらの課題に対して、患者の早期発見・早期受診の徹底や日本版DOTSに基づき、関係機関との連携による患者中心の支援等、今後もさらなる取組を展開し、結核対策の推進・強化へとつなげるとともに、保健所等担当職員の人材育成や関係機関との連携といった基盤強化にも努めてまいります。

令和 6 年 3 月

沖縄県保健医療部
ワクチン・検査推進課長

平 良 勝 也

目 次

I	結核対策の概要	
1.	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく基本的対策	1
2.	結核管理のフローチャート	2
3.	結核患者の登録状況	3
II	新登録患者の状況	
1.	新登録患者数及び罹患率	5
2.	登録時の結核病類	12
3.	合併症の状況	12
4.	新登録肺結核患者の状況	13
III	年末時登録患者の状況	
1.	活動性結核患者数及び有病率	18
2.	結核登録者数及び登録率	19
3.	長期登録者の状況	25
4.	登録除外者の状況	25
IV	前年登録者の状況	
1.	コホート観察結果	26
2.	治療期間	27
V	結核死亡の状況	
1.	結核死亡数及び死亡率	28
VI	結核医療の状況	
1.	結核医療費の公費負担状況	29
2.	入所命令(入院勧告等)患者措置状況	31
3.	指定医療機関数	31
4.	結核病床数	32
VII	定期健康診断及び予防接種の状況	
1.	定期健康診断実施状況	33
2.	予防接種実施状況	41
VIII	資 料	
1.	沖縄県結核サーベイランス委員会資料	42
2.	結核管理図	46
3.	結核対策のあゆみ	60
4.	用語の解説	64